

科目名	国文学講読Ⅰ			担当教員	木戸浦 豊和	
単位	2単位	講義区分			ナンバリング	ED2JLI405
期待される学修成果	教科教育 態度					
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	(１) テーマ：近代小説を読む――夏目漱石「坊っちゃん」 (２) 到達目標： ①小説の言葉・表現・イメージに着目し、作品を精読できる。 ②小説の《技法》を分析し、独創的な文学表現を読み解くことができる。 ③根拠や理由を明確にして、自分の解釈や批評をまとめ、発表することができる。 ④ディスカッションの中で自分の意見を分かり易く他人に伝えるとき、他人の意見を的確に聞くことができる。					
授業の概要	(１) 受講生の口頭発表と質疑応答の授業である。近代文学の読解に関心のある学生を対象とする。 (２) 「国文学概論Ⅰ」と「国文学概論Ⅱ」の単位を取得済みであることを履修の条件とする。 (３) 夏目漱石（1867～1916）の初期代表作「坊っちゃん」（1906）を精読する。毎回、発表担当者が2000字程度の発表を行い、その内容をもとに質疑応答を行う。これにより文学作品を正確に理解するために必要な読解力を養う。					

授業計画	
第1回	ガイダンス 夏目漱石および「坊っちゃん」について
第2回	「坊っちゃん」第一章
第3回	発表資料のまとめ方・発表の仕方について ※発表順決定
第4回	先行研究を読む――石原千秋「坊っちゃんの山の手」
第5回	発表①：「坊っちゃん」第二章
第6回	発表②：「坊っちゃん」第三章
第7回	発表③：「坊っちゃん」第四章
第8回	発表④：「坊っちゃん」第五章
第9回	発表⑤：「坊っちゃん」第六章
第10回	発表⑥：「坊っちゃん」第七章
第11回	発表⑦：「坊っちゃん」第八章
第12回	発表⑧：「坊っちゃん」第九章
第13回	発表⑨：「坊っちゃん」第十章
第14回	発表⑩：「坊っちゃん」第十一章
第15回	発表⑪：「坊っちゃん」まとめ

事前学修	2時間	作品を必ず読み、疑問点等をまとめる。
事後学修	2時間	作品を再読し、自分の意見や分析・解釈を整理する。
フィードバックの方法	発表等に対し、コメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0％	定期試験は実施しない。

上記以外の試験・平常点評価		70%	発表またはレポートの内容に基づく。
上記以外の試験・平常点評価		30%	ディスカッションの発言内容・態度に基づく。
補足事項	(1) この授業は、選択科目であるため、自分の必要に応じて受講すること。 (2) 「国文学概論Ⅰ」と「国文学概論Ⅱ」の単位を取得済みであることを履修の条件とする。 (3) 文学の授業でもっとも大切なことは、自分で作品を読み、自分で作品を分析し、解釈することである。必ず自分で作品を読み、自分の言葉で事前課題やレポート・発表資料をまとめること。 (4) 事前課題や発表資料などについて、生成AIによって出力した文章や、ネット上の文章などを「コピペ」した場合には、失格とする。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
坊っちゃん	夏目漱石	岩波文庫	9784003101032	—
参考資料	授業中に紹介する。			